

放射線量測定器の使い方

1 測定器

環境放射線モニタ ラディ（堀場製作所製）

2 測定器の取扱い

- (1) 測定器は精密機械なので、落としたり、乱暴な取り扱いはしないようにお願いします。
- (2) 測定器に泥や砂が付着すると正確な値が表示できなくなる可能性があるため、必ずビニール袋をかぶせたまま使用してください。（測定する放射線はビニールを透過するので測定値に影響はありません。）明らかに泥や砂で汚れてしまった場合、ビニール袋を交換してください。
- (3) 使用後は、必ず電源を切ってください。



3 具体の測定方法

- (1) 測定器の取扱い方法
 - ア 電源を入れる。（電源ボタン0.5秒長押し）
 - イ 35秒後に最初の測定値が表示される。
 - ウ その10秒後に次の測定値が表示される。
 - エ その後、10秒ごとに測定値が表示される。



- (2) 測定及び記録
 - ア 測定地点を決定し、地表面から1 m及び50 cmの高さで測定します。
※ メジャー等で必ず測定高さを確認しながら測定してください。
 - イ 測定器を手のひらに保持して測定します。
 - ウ それぞれの測定高さに測定器を保持した後、1分間（10秒ごとに表示される値6回分の数値は、保持する間の移動分の値が含まれるため。）は記録せず、1分後（7回目）に表示される値から10秒ごとに表示される値を5回記録してください。

4 測定結果の提出

測定した地上高1 m及び50 cmの測定結果のうち、代表的な1箇所の測定結果を、「放射線量測定値集計表」により提出をお願いします。

5 問合せ先

操作方法等について御不明な点があれば、次ページのQ&Aを御覧いただくか、原子力安全対策課までお問合せください。（電話22-3111 内線577）

放射線量測定器（ラディ） Q & A

※ラディ取扱説明書から引用

1 ラディは何を測っているのですか？

ラディは γ （ガンマ）線という放射線を測定するモニタです。

2 ラディを動かしていないのに、値が変わるのは？

その場所の放射線の量がわずかに変化しているためです。何回か測定して平均すると信頼できる値になります。

3 ラディを置く場所や向きは測定値に影響しますか？

自然放射線はあらゆる方向からやってくるので、自然放射線を測定するときには、ラディを置く場所や向きは気にしなくてもかまいません。水平に置くか、手に持つだけで大丈夫です。

4 電源をONにしたけど、35、34、33と数字が表示される

電源ON直後の約35秒間、液晶には数字がカウントダウン表示され、測定値は表示されません。その間、ラディは測定しながら平均値を計算しています。

5 表示の値が変わらない

大丈夫です。ラディは10秒ごとに新しい測定値を表示しますが、同じ値が連続して測定された場合には、表示値が変わらないように見えます。

6 雨が降ると表示の値が高くなる

一般に雨が降ると表示値は高くなる傾向があります。

7 測定器から、「ピピッ」「ピピピ」のような音が聞こえる。

本体のBUZZER（ブザー）ボタンを押すと、測定器が放射線を感知するたびに発音し、再度ブザーボタンを押すことで音は消えます。（※故障や警報音ではありません。）

8 測定値の上限は？

この測定器では、 $9.999 \mu\text{Sv/h}$ が計測の上限となり、その値を超えると数字が点滅してオーバーフローしていることを示します。一度オーバーフローすると1分間表示は戻りません。